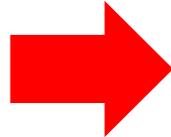


高齢者市内バス利用促進対策

【課題】 市内線は、運行収入が運行費用を大きく下回り、交通事業者の負担により運行されているため、運行を持続するための支援体制づくりが必要となっている。

【対策】 留萌市内に住所を有する高齢者に対し、市内バス路線の運賃を助成することで、社会活動等への参加促進及び公共交通の利用促進につなげ、高齢者支援とバス事業者支援を同時に図ることにより、持続可能な公共交通の実現につなげられないか。



留萌市内近郊線 Aコース



日東団地線



高齢者の方へ助成

【例】

- 回数券
- 乗車券
- サブスクリプション

(月額課金・定額乗り放題)など

※自動車免許返納者に対する助成は、差別化を図るべきか。



市が助成

※通院、買い物以外にも、公共施設(「健康の駅」「図書館」「はーとふる」「ぷるも」「船場公園」「るもいプラザ(→神居岩温泉)」、商店街等において、外出を後押しするようなタイアップした仕掛けづくりも同時に必要か。